

共通番号制度の問題点など質問

衆院内閣委員平井氏

8日の衆院内閣委員会、平井卓也氏（自民党・無所属の会）が「一般競争を行い、6月に大綱がまとまった社会保険と税の共通番号制度について聞いた。

制度は国民一人一人に番

号を割り振って、税や社会保険などの情報を管理するもので、今後の国会審議を経て、2015年から段階的な運用を目指す。

大綱は6日まで、パブリックコメントを募集したが、平井氏はその内容について、「だれが責任を持って行うかが明確でなく、競争省のための制度ではないか」と指摘。番号の振り方や管理の仕方、導入による費用対効果など具体的な事項について議論を深めるとともに、独立した監視機関の設置を求めた。

答弁に立った与野党総経済財政担当相は監視機関の設置について、「独立性と強い権限を有するものとなるよう具体的なあり方について引き続き検討する」と答えたが、その他の具体的な内容については担当者が明確な回答はなかった。